

おすすめポイント

就学費用保障保険 (総合生活保険)

19W



扶養者が病気やケガで死亡したり、ケガで重度後遺障がいを負って学生本人が**扶養者に扶養されなくなった場合**の学資費用をサポート。奨学金給付予定の方も加入できます。

ポイント ①

大学・学部ごとに異なる学費に合わせて保障額を柔軟に設計できます。

1口の保障限度額は25万円
最大15口まで加入可

ポイント ②

授業料や教科書・教材等の学資費用(実費)を卒業予定年まで毎年保障します。

ポイント ③

通学のための**定期代**および一人暮らしの方の**家賃**も保障対象です。

(口数に関わらず年間10万円限度)

保障内容と保険料

どんな時に	どのような費用・損害に対して	いくら保障されるか (1口あたり)	口数の目安*1 (最大15口)	1年間の保険料*2 (1口あたり)
<ul style="list-style-type: none"> 扶養者が病気やケガで死亡した場合 扶養者がケガで重度後遺障がいを負った場合 	<p>学生が実際に負担した、在学に必要な以下の費用</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業料、教科書代、施設設備費、実験・実習費等 通学定期代 賃貸借契約の賃料、管理費、共益費 	<p>1年間最高25万円まで (ただし、定期代と家賃は口数によらず年間10万円まで)</p>	<p>国立大学:2~3口 (年間50-75万円)</p> <p>私立大学文系:3~4口 (年間75-100万円)</p> <p>私立大学理系:4~5口 (年間100-125万円)</p> <p>ご入学される学部の授業料をご確認ください</p>	<p>2,600円 (2028年卒業予定の1年目の保険料)</p>
<p>学生がケガで後遺障がいを負った場合</p>	<p>ケガによる身体の後遺障害</p>	<p>1事故最高10万円まで (後遺障害の程度に応じて決定)</p>		

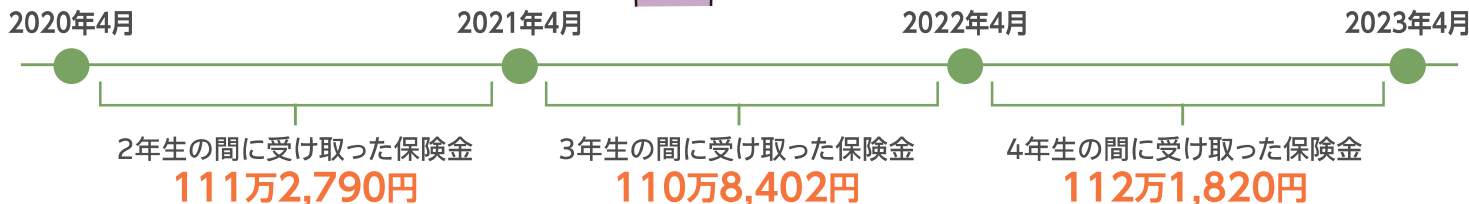
実際のお支払事例

- 2019年4月に私立大学の文系学部に入学
- 授業料等の学費の年額105万円
- 就学費用保障保険に5口

Aさん



私が1年生の後期に突然父ががんで他界しましたが、2年生以降の必要な費用を全て保険金でまかなうことができ、無事に卒業まで学業を継続することができました。



就学費用保障保険Q&A

Q 自宅生ですが、加入する必要はありますか？

A 扶養者の「もしも」のリスクは自宅生、自宅外生でも同じです。教科書や教材、通学のための定期代も保障の対象となりますので、ご加入をご検討ください。

Q 学生総合共済の保障だけでは足りないのですか？

A 学生総合共済では、扶養者の病死に対して50万円が支払われますが、卒業までに必要な学費等をまかなえないケースがあるため、就学費用保障保険にもご加入ください。

*1 文部科学省「令和3年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」、「国公立大学の授業料等の推移」を参考に、授業料のみを考慮した目安です。

*2 上記保険料は(主に2024年度の新入生の方が)2024年4月1日を始期日として加入する場合の金額です。卒業予定年や加入時期によって保険料が異なる場合がありますので、詳しくは27ページをご確認ください。